

会 議 録

付属機関又は会議体の名称		教育に関する事務の点検・評価委員会(第1回)
事務局(担当課)		教育委員会事務局 教育総務部 教育総務課
開催日時		平成25年6月27日(木)午後4時～午後5時10分
開催場所		豊島区役所地下一階 教育委員会室
出席者	委員	飯塚委員長、壺内委員(職務代理)、和田委員
	関係者	教育長、教育総務部長、学校運営課長、学校施設課長、教育指導課長、統括指導主事、教育センター所長
	事務局	教育総務課長、教育総務課庶務係長、教育総務課主事
公開の可否		公開・非公開・一部公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 委員長選出 4 委員長挨拶及び委員自己紹介 5 教育長挨拶 6 職員紹介 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会議の公開について (2) 平成24年度点検・評価後の取組状況について (3) 平成25年度点検・評価委員会の評価方法の変更について (4) 平成25年度点検・評価委員会の実施及び評価対象の選定について (5) 平成25年度学校視察の実施について (6) 今後の日程の確認について 8 閉会

審議経過

1 開会

教育総務課長)

只今から第1回教育に関する事務の点検評価委員会を開催いたします。

2 委嘱状交付

<教育長より委嘱状交付>

3 委員長選出

教育総務課長)

教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱第3条に基づきまして委員長を選出いたします。規定によりますと、委員長は委員の互選と定められています。委員の皆様、いかがいたしましょうか。

壺内委員)

飯塚先生を推薦します。

教育総務課長)

それでは、飯塚委員に委員長をお願いするということで、皆様よろしいでしょうか。
(委員全員異議なし)

教育総務課長)

それでは、飯塚委員に委員長をお願いしたいと思います。

続きまして、委員長職務代理者を選出していただきたいのですが、例年どおり委員長が指名するということがよろしいでしょうか。

(委員全員異議なし)

飯塚委員長)

壺内委員を指名したいと思います。よろしいでしょうか。

(委員全員異議なし)

4 委員長挨拶及び委員自己紹介

教育総務課長)

では、委員長及び委員の皆様から一言頂戴したいと思います。委員長からお願いいたします。

飯塚委員長)

5年目となりましたが、マンネリ化しないように、諸々の課題について指摘していきたいと思っております。できるだけ具体的な評価をして、豊島区の教育に反映できるように努めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

壺内委員)

委員長同様、厳しく指摘していきたいと考えております。よろしく申し上げます。

和田委員)

一般の区民の視点からの意見を伝えていきたいと思います。よろしく願いいたします。

5 教育長挨拶

教育総務課長)

続きまして、教育長の挨拶です。

教育長)

今年度も本委員会の委員を承諾いただき、ありがとうございます。

来年度は教育ビジョン2010の改訂の時期です。この教育ビジョン2010を作成したときには実施を見込んでいなかった事業も実施しているというのが現状です。来年度の見直しの際にそういった新しい事業についてもアンケート調査を行います。これから事務局より提案がありますが、本委員会では、都市型環境教育と学力向上という教育ビジョンの目玉として扱っていくであろう事業を評価していただきたいと考えております。この評価は、教育関係者を対象にしたアンケートとともに教育ビジョンに反映させていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

6 職員紹介

<事務局職員紹介>

7 議事

飯塚委員長)

それでは、これより議事に入ります。進行を務めさせていただきます。

(1) 会議の公開について

飯塚委員長)

教育総務課長より説明をお願いします。

<教育総務課長 資料説明>

飯塚委員長)

従来どおりということですが、よろしいですか。

(委員全員異議なし)

飯塚委員長)

では、公開方法等については、変更なしでお願いします。

(2) 平成24年度点検・評価後の取組状況について

飯塚委員長)

こちらも教育総務課長よりご説明いただきます。

<教育総務課長 資料説明>

飯塚委員長)

壺内委員、いかがでしょうか。

壺内委員)

昨年度、この評価を実施して、変わったところや課題がありましたらお伺いしたいです。

教育指導課長)

昨年度、図書館司書の配置について評価していただきましたが、今年度から小学校と中学校ともに、3週間で4回、図書館司書を配置します。全校に事業を拡大しました。成果がある一方で、課題として、派遣職員である図書館司書の質が様々であるということ、図書館司書が図書館の整備を主な活動としている現状がございます。まだ始まったばかりですので、今後事業を進めながら、ある程度の力のある司書の配置、子どもたちと接する中でもっと積極的に図書館司書を活用していきたいと考えております。

飯塚委員長)

全校に図書館司書を配置できたということはとても素晴らしいと思います。今後は、どれだけ子どもたちに影響を与えているのかを調査していかなければいけません。また、図書館司書を対象にした研修も実施する必要があると思います。

教育指導課長)

子どもたちへの影響を調査するのはもちろん、派遣職員の契約内容には研修についても書かれております。その研修内容を精査することで、図書館司書としてふさわしい人材の育成にも教育指導課が関わっていききたいと思います。

飯塚委員長)

学校施設課や学校運営課の事業についても何かありますか。

和田委員)

学校施設環境整備のトイレの改修についてですが、子どもたちからもとても評判が良いです。この評価委員会でも以前に視察をしましたが、トイレが変わると雰囲気が変わります。今後も計画的に進めていただきたいと思います。

また、スクールソーシャルワーカーについてですが、民生委員はほとんどの人がスクールソーシャルワーカーの存在を知っています。とても浸透してきたなと感じています。

学校施設課長)

トイレの改修につきましては、今年度、補助金をより効果的に活用し、多くの学校のトイレが整備できる予定です。今後も計画的に整備していきたいと考えております。

飯塚委員長)

I C Tの活用については、学校運営課長、何かありますか。

学校運営課長)

昨年、ご指摘していただきましたパソコンのタブレット化ですが、今年度、本格的に始動します。今年の12月に小学校全校と中学校3校でパソコンのリースが切れます。その際に、タブレット型のパソコンに切り替えたいということで準備を進めております。そうすると、パソコン室だけでなく、教室でもタブレットパソコンが使えるようになり

ますので、教室の無線LAN化もあわせて進めていきたいと考えております。

飯塚委員長)

意見が活かされているようで嬉しく思います。他に何かありますか。

壺内委員)

昨年、理科や社会科などの区として研究課題となっている科目を研究対象とする必要があるという指摘をさせていただきました。特に理数教育の充実は私もとても重要だと感じております。

理科室の活用の仕方が各学校で様々ではないかと思えます。薬品の整備についても、古い薬品がそのままになっている学校があるのではないのでしょうか。また、理科室の活用率も各学校で様々だと思えます。理科は実技教科です。課題が多いと思えますが、今後の見通し等ありましたらお伺いしたいです。

統括指導主事)

理数教育の充実教育ビジョン2010の中でも重点項目になっており、様々な取り組みを実施しております。委員ご指摘のとおり、理科室の活用はとても重要であると考えております。物品の充実や薬品の管理は、各学校で精力的に進めております。物品の充実については、国の特別予算を活用して充実させていきたいと考えております。薬品の中でも劇薬と呼ばれるものは、実験中のケガにもつながるおそれがありますので、薬品の在庫状況を教職員が知っていなければいけないということが法律で定められておりますし、それを実施していないと消防や警察の点検で許可がもらえないことになっております。

また、全体的な理数教育の充実という点では、今年度、東京都の理数フロンティア校という制度を活用して、高南小学校と池袋中学校が理数教育の推進を図ります。特に大学連携等を活用して、授業の助言だけでなく、理科室の整備・活用を進めています。理数に長けた方々からの指導・助言の結果、3か月ほどですが、結果がでてきていると感じております。

飯塚委員長)

理科室の活用状況については、教育委員会が把握すべきことだと思います。統括指導主事からお話があったような熱心に取り組んでいる学校はよいのですが、活用できていない学校については、きちんと指導していく必要があります。そういった取り組みが豊島区の子どもたちの基礎学力につながると思えます。

他にご意見がなければ次に進みたいと思います。

(委員全員異議なし)

(3) 平成25年度点検・評価委員会の評価方法の変更について

<教育総務課長 資料説明>

飯塚委員長)

個々の事業を評価する評価方法ではなく、教育施策を構成する事業を評価する方法に変更するということですが、ご意見はありますか。確かに、施策という大きなものがあ

って、それぞれの事業がありますので、教育委員さんのご意見もよくわかります。

壺内委員、いかがですか。

壺内委員)

良い案だと思います。教育委員会の取組みは学校での取組みがなければ運営されていきません。事業だけで評価するのではなく、教育委員会の事業を学校がきちんと把握して共有しているのかというところもこの方法だと評価できます。逆に、教育委員会も各学校の問題が教育委員会の問題でもあるという意識をもつことができると思いますので、学校としても意味のある評価になると思います。

飯塚委員長)

和田委員、いかがですか。

和田委員)

従来の方法だと、教育委員会が整えたものを学校が上手く活用しているのかということは評価しづらい部分でした。活用することが重要ですし、校長先生が代わったら活用しなくなるということがあってはいけないと思っています。継続して上手な活用をしていかなければいけませんし、そこを評価することが大切だと考えています。

飯塚委員長)

現場の先生が、教育施策の意味をどれだけ理解しているのかということが重要だと思います。それを徹底していかなければ、教育施策も意味のないものになってしまいます。学校現場についても評価できるというのは良いと思います。

では、評価方法を資料のとおり変更したいと思います。

(委員全員了承)

(4) 平成 25 年度点検・評価委員会の実施及び評価対象の選定について

(5) 平成 25 年度学校視察の実施について

飯塚委員長)

教育総務課長、説明をお願いします。

<教育総務課長 資料説明>

飯塚委員長)

1 番の「都市型環境教育の推進」と 2 番の「学力の向上」について、施策を評価するということですが、委員の皆様いかがでしょうか。

壺内委員)

5 番の「家庭教育支援の充実」、6 番の「特別な支援を必要とする子どものための施策」とありますが、これに含まれる事業の現在の実施状況について説明していただきたいと思います。

教育センター所長)

5 番のスクールソーシャルワーカーの配置についてですが、教育センターに 4 名のスクールソーシャルワーカーを登録し、活用しております。非常勤職員ではなく、謝礼を払うというかたちで実施しており、1 時間につき 3 千 5 百円の謝礼を支払い、年間 8 4

0時間という契約内容となっています。24年度は順調に活用され、今年度も24年度と同じ予算で実施しました。今年度は、すでに24年度を上回る活用状況でございます。

また、同じく5番の日本語学習支援についてですが、一部の学校で日本語教室を設けています。教育センターでも外国籍の子どもたちのための通級教室を実施しており、日本語教育の学習が必要な児童について、言葉の学習はもちろんコミュニケーションを図る指導を実施しています。

飯塚委員長)

日本語学習についてですが、学習してもコミュニケーションが上手くとれない児童・生徒もいるのではないですか。

教育センター所長)

一定の成果を上げておりますが、難しいケースもありますし、習得が上手く進まない児童・生徒もおります。また、外国籍でコミュニケーションが上手くとれずに学校不適応となってしまう児童・生徒もおります。子どもたちが悩んでいるのではないかと感じた場合、学校とも連絡を取り合い、学校での生活にも配慮していただくなどして対応しております。

教育総務課長)

5番のPTA活動支援ということで、教育委員会がPTAの活動の支援をしております。PTA主催のスポーツ大会や研修等の支援でございます。

教育指導課長)

6番についてですが、今年度から小学校全校に都費のスクールカウンセラーが配置されました。また、教員についても子どもたちの状態に合わせた指導ができるように研修を実施しております。初任者研修の中でも、発達障害の子どもたちへの対応について、具体的な事例をもとに研修を実施しています。

飯塚委員長)

都費のスクールカウンセラーということですが、都費の予算はどのくらいですか。

統括指導主事)

1日7時間45分で4万4千円です。回数は週1回です。

飯塚委員長)

区費はいくらですか。

統括指導主事)

今年度からは区費のスクールカウンセラーは配置しておりません。

教育センター所長)

教育センターでこれまで配置していた区スクールカウンセラーは、非常勤職員で月に16日勤務で23万7千円でした。時給換算しますと東京都のスクールカウンセラーよりも安くなっております。

現在、幼稚園の特別支援プロジェクトを進めておりますので、ここでも区費のスクールカウンセラーを活用していきたいと考えております。特別な配慮を要する園児のためのプロジェクトです。また、これまで雇用していた区費のスクールカウンセラーは、学

各課長から1番と2番を選んだ理由を挙げていただきましたが、今年度、評価していただくのは24年度の実績です。芝生も都市型環境教育の推進に該当いたしますが、今年度の視察は西池袋中学校と富士見台小学校で計画しています。西池袋中学校では太陽光発電を設置し、モニターでどれだけ電気を使用しているのかを見ることができるようになりましたが、それを環境教育に活かしているのかといった学校の取組みも評価していただきたいと考えています。今後の学校改築にはそういった設備を導入し、活用していただきたいと考えておりますので、西池袋中学校の活用状況を評価していただきたいと思ひます。

また、能代市との連携も24年度に様々な取組みを行いました。教員派遣やシンポジウムを実施し、能代市の家庭教育の良さを豊島区でも活かしていきたいと考えております。富士見台小学校では、すでに家庭学習ノートを作り、自学を重視した取組みを実施しています。能代との連携についても学校がどのように活かしているのかということも評価していただきたいと思ひます。

飯塚委員長)

環境教育プログラムを作るといふ話がありましたが、学校の意見を取り入れてプログラムを作っていたきたいと思ひます。

教育総務部長)

はい。学校の要望等を取り入れてプログラムを作りたいと考えています。各学校で環境教育に対する意気込みもありますし、柔軟に活用できるようなプログラムにしていきたいと思ひます。

教育長)

補足ですが、プロジェクトチームを作り各学校からもご意見をいただきたいと考えています。学校でヤゴ救出作戦等の取組みも実施していましたが、子どもたちが育てた生き物や救出した生き物を新庁舎の屋上に放流して、区民で共有するといったこともできます。具体的なプログラムはこれから検討していきますが、区民の皆さんが楽しめるプログラムや、豊島区に親しみがもてるようなプログラムにしていきたいと考えております。

飯塚委員長)

今の都会の子どもたちは、土を直接触る機会があまりありません。ミミズがいる土が植物には良いですよね。そういった土に触って、実感して、学びにつながると思ひます。そのきっかけを子どもたちに提供していただきたいと思ひます。また、能代市は日本の中でもトップクラスの教育効果を上げています。これは単に授業が上手いだけではありません。その結果の裏には、先生たちが長年積み重ねてきた努力があると思ひます。その辺りをしっかり学んでいただきたいと思ひます。視察や事業の詳細を拝見させていただいた上で、深くまで切り込んだ評価をしていきたいと思ひます。他の委員の皆様も、よろしくお願ひします。

それでは、次に進みたいと思ひます。

(委員全員了承)

(6) 今後の日程の確認について

飯塚委員長)

それでは、第2回は西池袋中学校と富士見台小学校の学校視察ということで、7月17日に実施します。それ以降の日程はいかがでしょうか。

<日程調整>

飯塚委員長)

第3回が7月25日、第4回が7月31日ということで、時間の設定はよろしく願います。

8 閉会

飯塚委員長)

以上で第1回教育に関する事務の点検・評価委員会は終わります。ありがとうございました。

・提出された資料

資料No.1-1	平成24年度	点検・評価後の取組状況(報告)
資料No.1-2	平成25年度	点検・評価委員会の評価方法(案)
資料No.1-3	平成25年度	点検・評価の実施及び評価対象の選定(案)
資料No.1-4	平成25年度	学校視察の実施(案)
参考資料1		教育に関する事務の点検・評価実施要綱(案)
参考資料2		教育に関する事務の点検・評価委員会設置要綱
参考資料3		豊島区審議会等の会議の公開に関する要綱
参考資料4	平成24年度	教育に関する事務の点検・評価委員会報告書
参考資料5		豊島区の教育2012(平成24年9月 豊島区教育委員会)
参考資料6		豊島区教育ビジョン2010(平成22年3月 豊島区教育委員会)